

令和3年度横浜市普通会計決算の概要

※各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない可能性があります。

1 歳入

2兆2,303億円
(対前年度△1,627億円)

《主な要因》

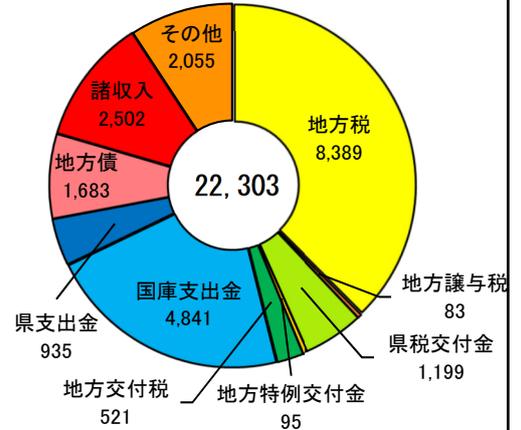
- ・特別定額給付金給付事業費補助金の皆減等による国庫支出金の減 (△2,888億円)
- ・横浜北西線の財産売却収入の増等による財産収入の増 (+520億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R3年度	R2年度	増減
歳入総額	22,303	23,930	△1,627
国庫支出金	4,841	7,730	△2,888
財産収入	606	87	520
地方交付税	521	232	289
繰入金	564	391	173
諸収入	2,502	2,340	162

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳入の状況】(単位:億円)



2 歳出

2兆2,026億円
(対前年度△1,666億円)

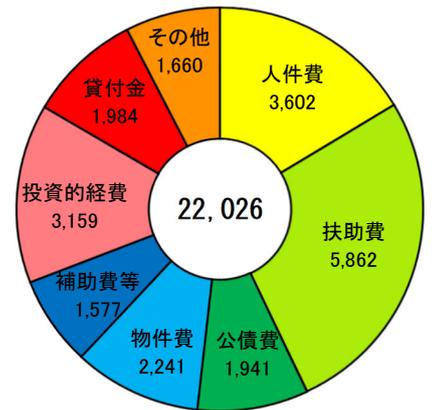
《主な要因》

- ・特別定額給付金事業の終了等による補助費等の減 (△3,786億円)
- ・子育て世帯等臨時特別給付金事業等の増加等による扶助費の増 (+869億円)
- ・(一財)横浜市道路建設事業団関連支出の増加等による投資的経費の増 (+869億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R3年度	R2年度	増減
歳出総額	22,026	23,693	△1,666
補助費等	1,577	5,363	△3,786
扶助費	5,862	4,993	869
投資的経費	3,159	2,290	869
物件費	2,241	1,906	334
積立金	298	115	183

【歳出の状況】(単位:億円)



3 その他 (経常収支比率、地方債現在高、基金積立金現在高)

(1) 経常収支比率

95.1% (△5.4ポイント)

(過年度(参考) H30: 97.7 R元: 100.5)

【前年度比較】(単位:%)

区分	R3年度	R2年度	増減
経常収支比率	95.1	100.5	△5.4

(2) 地方債現在高

2兆3,844億円 (△20億円)

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R3年度	R2年度	増減
地方債現在高(臨財債含む)	23,844	23,864	△20

(3) 基金積立金現在高

497億円 (+209億円)

うち財政調整基金 313億円* (+200億円)

※年度間調整分(70億円)や翌年度以降の活用のために、一時的に積み立てている金額*を含んだ残高。

【前年度比較】(単位:億円)

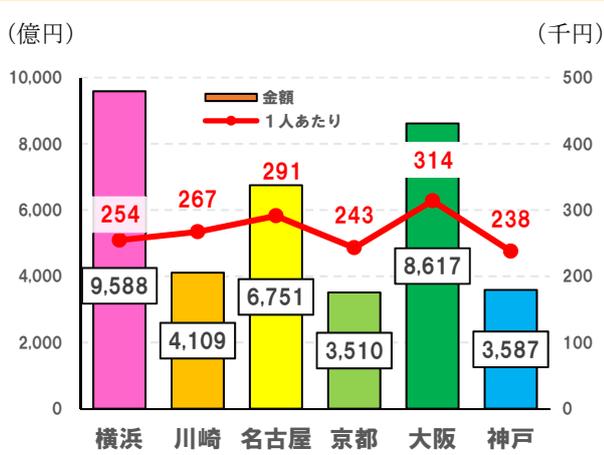
区分	R3年度	R2年度	増減
基金積立金現在高	497	288	209
うち財政調整基金現在高	313	114	200

*83億円(港湾局財産収入)、68億円(道路局財産収入)

令和3年度横浜市普通会計決算の概要（他都市比較）

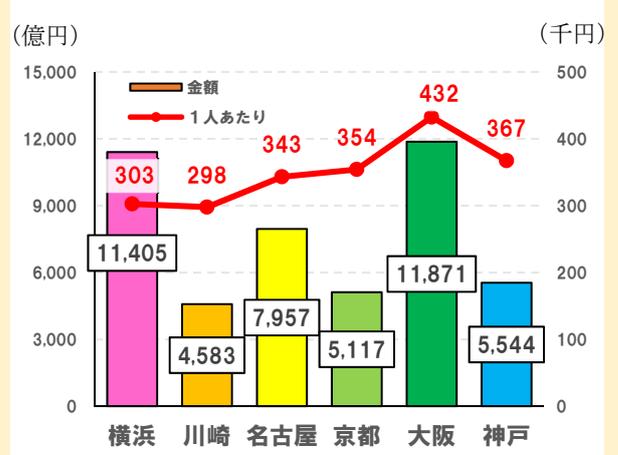
人口規模等が似ている他都市と比較した場合の本市の主な特徴を掲載しています。

歳入（うち地方税及び県税交付金）



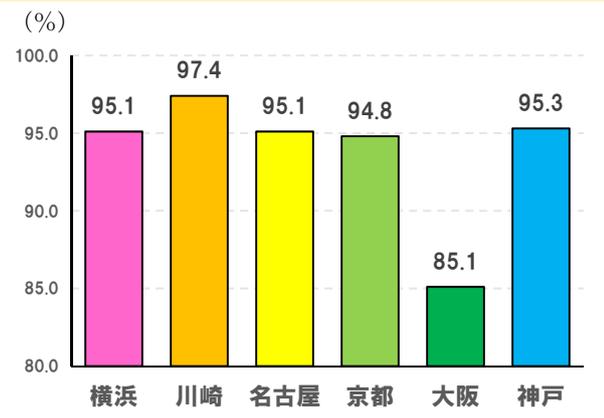
総額は最も大きいですが、1人あたり金額は、神戸市、京都市について小さい。

歳出（うち義務的経費（人件費、扶助費、公債費））



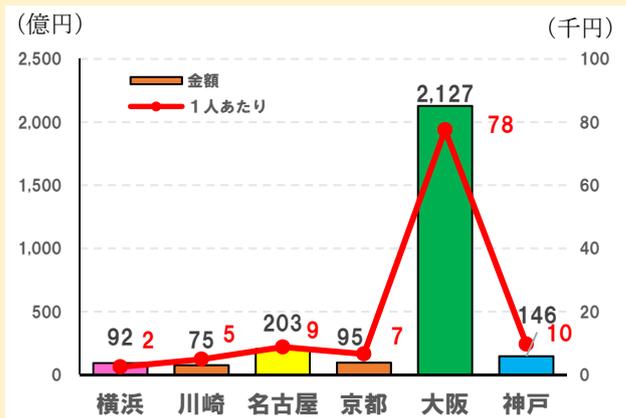
総額は大阪市について2番目の大きさであるが、1人あたり金額は、川崎市について小さい。

経常収支比率



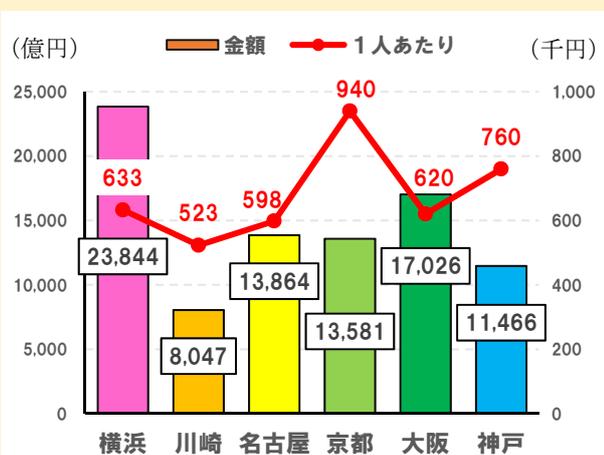
令和3年度は、2年度より低下したものの、依然として高くなっている。
（2年度は100.5%で、他都市と比較して最大。）

財政調整基金現在高



1人あたりの残高は、最も小さい2千円となっている。

地方債現在高



総額は最も大きいですが、1人あたり金額は、中位程度となっている。

主なポイント

- 令和3年度普通会計決算等から見た本市の特徴は、
- 地方税及び県税交付金や義務的経費の1人あたり金額は他都市と比較して小さい。財政の弾力性を示す経常収支比率は依然として高く（高い＝財政が硬直している）、予算編成や執行において、非常に厳しい状況となっている。
 - 災害時等の急な財政出動等に対応するための財政調整基金は残高が小さく、現下の社会情勢を見極めた適切な管理が必要となっている。
 - 地方債現在高の1人あたり金額は、他都市と比較して中位程度となっているが、引き続き、投資管理を適切に進めていく必要がある。

（注1）各都市人口は令和4年4月1日現在を使用して算出

（注2）本市財政調整基金現在高は、年度間調整分（70億円）や翌年度以降の活用のために、一時的に積み立てている金額※を控除した実質的な基金残高。※83億円（港湾局財産収入）、68億円（道路局財産収入）